

**答** 德廣 まちづくり課長  
【問】 都市整備計画等のこれまでの取り組み概要について問う。

【答】 都市再生基本方針に基づき事業を一体的に進めることで、平成18年度に佐賀市が一番多く次いで高知

## 都市計画

# 今後の都市整備の計画は必要に応じ作成していく



やの よりのぶ  
矢野 依伸 議員

賀地区、平成23年度に入り野地区で都市再生整備計画を作成し、道路整備や宅地造成等を実施している。

また、都市計画法による地域の持続的な発展を促進するため、特性を考慮しながら長期的な視点での都市形成を可能にする枠組みとして、都市計画マスター・プランがあるが、合併以前の旧佐賀町、旧大方町では作成していない。

【問】 今後の方針について問う。

【答】 德廣 まちづくり課長

町全体を包括する都市計画については、南海トラフ地震を見据えた形も求められることから、事前復興まちづくり計画とリンクする部分もあり現在は作成の予定はありません。これから都市計画事業を実施する際に必要な部分で計画を作成していきたいと思う。

## 人口対策 原因分析と今後の対策は

【問】 町人口の推移における現状と課題の分析は、また、今後の対策はどうかについて問う。

【答】 渡辺 企画調整室長

人口推移は平成30年度1万217人から令和6年度末には9820人となり、年平均1.8%の減少で計画期間の減少率は12.4%となつている。社会増減はマイナス21人の転出超過で就職のタイミングなどが重なる20歳から24歳の年齢層で他自治体と共に通する人口減が大きな要因となっている。

ていきたいと考えています。

市で仕事や結婚がきっかけとなり、住宅など新しい生活環境を求めてといふふうに捉えている。東京、大阪での移住ファミリーの移住者相談対応など、移住定住に向けた施策に重点的に取り組み、

アでの移住者相談対応など、移住定住に向けた施策に重点的に取り組み、

また空き家バンク居住情報提供に併せ、空き家修理補助、荷物の処分費や住宅新築のための古家解体補助なども創設したところで、今後も町の魅力を高め、空き家バンクの活用を促進するための古家解体補助なども創設したところです。



短く感じた秋の一風景